

# はままつ友愛の高齢者プラン(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と  
その意見に対する市の考え方の公表



令和2年11月19日から令和2年12月18日にかけて実施しました「はままつ友愛の高齢者プラン(案)」に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民5人、3団体から17件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「はままつ友愛の高齢者プラン」を策定し、令和3年4月からの実施を予定しております。今後とも、高齢者保健福祉施策及び介護保険制度に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和3年2月

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2  
浜松市健康福祉部高齢者福祉課

TEL 053-457-2790

FAX 053-458-4885

Eメールアドレス [kourei@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:kourei@city.hamamatsu.shizuoka.jp)

浜松市健康福祉部介護保険課

TEL 053-457-2862

FAX 053-450-0084

Eメールアドレス [kaigo@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:kaigo@city.hamamatsu.shizuoka.jp)

## 募集結果

<b>【実施時期】</b>	令和2年11月19日から令和2年12月18日		
<b>【意見提出者数】</b>	5人・3団体		
<b>【提出方法】</b>	持参（1）封書（2）電子メール（2）FAX（1） 説明会（2）		
<b>【意見数内訳】</b>	17件 (提案 8件、要望 5件、質問 4件)		
<b>【案に対する反映度】</b>	案の修正	6件	今後の参考 0件
	盛り込み済	6件	その他 5件

## 目次

<b>第1章</b>	プラン策定にあたって	(意見数	0件)
<b>第2章</b>	前プラン(H30-R2)の成果と取組状況		<b>3ページ</b>
1	プランの成果	(意見数	1件)
2	重点施策の進捗状況	(意見数	0件)
3	高齢者福祉施策の方向転換と見直し実施状況	(意見数	0件)
<b>第3章</b>	プラン策定の視点		<b>3ページ</b>
1	高齢者を取り巻く状況への対応	(意見数	2件)
2	これからの社会における高齢者の定義の見直し	(意見数	2件)
3	高齢者の意識への対応	(意見数	1件)
4	介護保険制度改正への対応	(意見数	0件)
<b>第4章</b>	基本理念と施策体系		<b>5ページ</b>
1	基本理念と基本目標	(意見数	0件)
2	施策体系図	(意見数	0件)
3	地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進	(意見数	2件)
<b>第5章</b>	6つの重点施策		<b>7ページ</b>
重点施策1	自立支援、介護予防・重度化防止	(意見数	0件)
重点施策2	在宅医療・介護連携の推進	(意見数	1件)
重点施策3	認知症施策の総合的推進	(意見数	0件)
重点施策4	介護サービスの充実・質の向上	(意見数	0件)
重点施策5	サービス提供人材確保・定着・育成	(意見数	0件)
重点施策6	地域共生社会の実現に向けた事業の推進	(意見数	0件)
施策展開における視点	災害や感染症対策に係る体制整備	(意見数	0件)

第6章 施策の現状と今後の方向性	8ページ
1 施策の展開	
①「70歳現役都市・浜松」の推進	(意見数 1件)
②「予防・健幸都市 浜松」の推進	(意見数 1件)
③自立支援、介護予防・重度化防止	(意見数 0件)
④生きがいづくりの推進	(意見数 0件)
⑤在宅医療・介護連携の推進	(意見数 0件)
⑥認知症施策の総合的推進	(意見数 1件)
⑦リハビリテーションサービス提供体制の充実	(意見数 0件)
⑧介護サービスの充実・質の向上	(意見数 0件)
⑨サービス提供人材確保・定着・育成	(意見数 1件)
⑩地域共生社会の実現に向けた事業の推進	(意見数 0件)
⑪見守り支え合う地域づくりの推進	(意見数 0件)
⑫選択可能な住まいと自分らしい暮らし方	(意見数 0件)
⑬尊厳ある暮らしの支援	(意見数 0件)
災害や感染症対策に係る体制整備	(意見数 1件)
2 成果目標	(意見数 0件)
第7章 サービス見込量	(意見数 0件)
第8章 介護保険事業費の算定	(意見数 0件)
第9章 参考	(意見数 0件)
その他	10ページ
	(意見数 3件)

## 第2章 前プラン（H30-R2）の成果と取組状況

### 1 プランの成果（1件）

<b>質問 1</b>	P 2「前プランの成果と取組状況」について、目標値と実績値に差が出ている部分について、どのように評価し、今回のプランに反映させていますか？また、プランへの影響はどのようになっていますか。
-----------------	---

#### 【市の考え方】その他

前プランの「重点施策1 地域包括支援センターの相談支援体制の充実」について、地域包括支援センターの認知度は向上しているものの目標値には届かなかった状況です。その要因として、要介護1以上の認定を受けた場合は地域包括支援センターではなく、指定居宅介護支援事業所が主な相談先になることが考えられます。22 ページのコラムに記載のとおり、今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、気軽に相談いただける機関を目指していきます。

そして、前プランの「重点施策5 生活支援体制づくりの推進」について、住民主体サービス実施か所数は、目標値を達成していないものの、平成29年度と比較して令和元年度は8か所増えている状況です。今後は、補助対象の変更や申請方法の簡素化、他都市の制度研究などにより、より利用されやすい事業を目指していきます。

その他の重点施策は、前プランの成果目標を概ね達成している状況です。

## 第3章 プラン策定の視点

### 1 高齢者を取り巻く状況への対応（2件）

<b>質問 2</b>	P 6「プラン策定の視点」について、前プランと異なっている点はどのようなところですか。また、どのような影響があつて変更となったのですか。
-----------------	--

#### 【市の考え方】その他

団塊ジュニア世代が65歳以上となることに伴い高齢者人口がピークを迎えることが見込まれている令和22年は、次期計画策定における国の基本指針においても記載を充実すべき事項と定められています。

そのため、前プランは団塊世代が75歳以上となる令和7（2025）年を見据えた内容であったのに対し、プラン案では令和22（2040）年を新たな視点として加え、各年齢層の構成や、世帯構成の変化など、それぞれの年がどのような状況であるか比較できるよう構成しています。

<b>提案 1</b>	P13 「(9) 特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備状況」について、計画期間中の特別養護老人ホーム整備の有無が分かりづらいので、整備しない旨を明確に記載してください。
-----------------	--

**【市の考え方】案の修正**

お寄せいただいたご意見を踏まえ、13 ページの特別養護老人ホームの整備の有無について明記します。

《修正内容》

(修正前)

令和2(2020)年8月時点の施設入所率は95.1%で、定員4,888人に対し空床が239床という状況であり、依然として空床があります。

(修正後)

令和2(2020)年8月時点の施設入所率は95.1%で、定員4,888人に対し空床が239床という状況であり、依然として空床があるため、今期においては施設整備は行いません。

**2 これからの社会における高齢者の定義の見直し(2件)**

<b>提案 2</b>	プラン案の中で「70歳現役都市」をうたっているが、「生涯現役都市」とした方が良いのではないか。
<b>提案 3</b>	<p>新一万円札の顔であり、2021年大河ドラマの主人公としても今後注目されるであろう渋沢栄一の名言。「四十、五十は洩垂れ小僧、六十、七十は働き盛り、九十になって迎えが来たら、百まで待てと追い返せ」基本理念や70歳現役都市、人生100年時代とも相通ずる言葉であり、キャッチーなフレーズであるため盛り込んでみてはどうでしょうか。</p> <p>(数多くの企業設立や育成に関わり、社会事業活動にも熱心に取り組んだ。浜松市春野町に木材パルプ工場を設立し、少なからず浜松市にもゆかりがある人物。すでに一線を退いていた80代になってからストレッチ運動を始め、いつ社会的な出番が来てもいいよう健康に留意されていたそうです。)</p>

**【市の考え方】その他**

高齢者が健康で明るく、生きがいを持って活躍できる環境を整備し、誰もが70歳になっても現役を続けられる都市を目指すため、平成31年2月に浜松市商工会議所、浜松市シルバー人材センター、浜松市社会福祉協議会、本市の4者により「70歳現役都市・浜松」を共同宣言していることから、プラン案に取り入れています。

なお、本市としても概ね70歳を目安として元気に働き続けられることを推進するというものであり、70歳で画一的に線を引くものではありません。

### 3 高齢者の意識への対応（1件）

<b>提 案 4</b>	P15「3 高齢者の意識への対応」に掲載の実態調査結果について、どのような意図で調査結果を抜粋しているのか分かりづらいため、全ての調査結果に意図がわかるコメントを記載してください。
----------------------	--

#### 【市の考え方】案の修正

お寄せいただいたご意見を踏まえ、調査結果を受けてどのような施策を推進する必要があるか分かるよう、全ての調査結果にその旨を記載します。

#### 《修正内容》

- ・16 ページ 「地域の支え合い活動の担い手としての参加希望」の項目に次のとおりコメントを追加  
生活支援体制整備の推進により、住民主体サービスの担い手が地域の支え合い活動へ参加するきっかけづくりを推進する
- ・17 ページ 「主な介護者の年齢」の項目に次のとおりコメントを追加  
地域包括支援センターなどの相談窓口や、生活支援サービスの利用を促進する
- ・17 ページ 「介護のための働き方の調整」の項目に次のとおりコメントを追加  
介護保険制度、介護サービス等の普及啓発に努める

## 第4章 基本理念と施策体系

### 3 地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進（2件）

<b>質 問 3</b>	地域包括ケアシステムを推進する上で、ボランティア不足を解消するためにどのような取組を行っているか。
----------------------	---

#### 【市の考え方】盛り込み済

21 ページでお示しさせていただいた地域包括ケアシステムの図中「生活支援」の中に記載の「生活支援体制づくり協議体」では、地域の支え合いの体制づくりを推進するため、本市や浜松市社会福祉協議会、地域包括支援センターのほか、自治会や民生委員、シニアクラブなどの団体が集まり、地域の生活支援サービスに関するニーズや課題の協議を行っています。この中でも、地域の人材不足が課題として挙がっており、ささえあいポイント事業や35 ページに記載の浜松市社会福祉協議会で実施しているボランティア養成講座などにより、人材不足の解消を図ります。

<b>要望 1</b>	<p>高齢者支援の分野において地域包括支援センターなどの活動により地域包括ケアシステムの推進と深化が各地域で進められている。急速な人口構造や社会構造の変化、地域社会の人間関係の希薄化等を背景に多くの人々が複雑化・複合化している様々な生活課題に直面している。</p> <p>障害者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援など、それぞれの分野に包括的な支援の仕組みの整備が一層推進されることを期待する。</p> <p>あらゆる困りごとやニーズをワンストップかつシームレスに解決する仕組みづくりのさらなる推進を期待する。</p>
-----------------	---

**【市の考え方】盛り込み済**

高齢者や子ども、障がい者等すべての人々が地域、暮らし、生きがいをともにつくり、高め合うことができる地域共生社会の実現に向け、本プランの上位計画である「浜松市地域福祉計画」にて、複合的な課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制の構築を推進しているところです。

また、地域共生社会の実現に向けては、高齢者を支える地域包括ケアシステムが中核的な基盤になり得ると国が示しており、プラン案においても 34 ページの「重点施策 6 地域共生社会の実現に向けた事業の推進」に記載のとおり、多機関多職種が連携協働して支援できる体制づくりを目指します。

## 第5章 6つの重点施策

### 重点施策2 在宅医療・介護連携の推進（1件）

<b>要 望 2</b>	<p>重点施策2の中で挙げている「ACP」について、自らが希望することを家族と話し合うことは大切だと思いますが、介護する側にとっては大変なことです。</p> <p>私の周りからは「最後まで家で暮らしたい」という本人の希望を叶えるために頑張って介護してみたものの、夜中に外出はする、家の中はどこでもトイレとなる、地獄のような日々だったと聞きました。会社員などは仕事にも行けなくなり、共倒れとなります。その方に適したプランを考えることが大事です。本人の希望を叶えるためには充実した支援があつてのことなので明記はどうかと思います。</p> <p>周りの人が介護できるか、できないかが大事です。家族が介護する場合には十分な支援が必要だと思います。</p>
----------------------	---

#### 【市の考え方】その他

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）は、人生の最終段階において自らが希望する医療やケアを受けるために、元気なうちから前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを目的とした取組です。心身の状態や時間の経過により気持ちが変わることがあるため、家族の状況も踏まえ、何度でも繰り返し話し合うことが大切です。

もし介護が必要になり、要介護認定を受けられた場合は、介護支援専門員（ケアマネジャー）が利用者の状況に適したケアプランを作成し、訪問介護（ヘルパー）や通所介護（デイサービス）等のサービスを利用することで、利用者本人の意思を尊重し、家族の負担の軽減につながる支援を行います。



## 第6章 施策の現状と今後の方向性

### 1 施策の展開

#### ①「70歳現役都市・浜松」の推進（1件）

<b>要望 3</b>	元気な高齢者の活躍の機会に対する支援やサポートがない。
-----------------	-----------------------------

#### 【市の考え方】盛り込み済

高齢者の就業機会の確保と生きがいの充実、社会参加の機会を図ることを目的として、シルバー人材センターへの支援などを行っています。

そのほか、生きがいづくりや健康増進に資する活動として、シニアクラブ活動への支援やねんりんピック（全国健康福祉祭）への選手団派遣、高齢者作品展の開催のほか、ささえあいポイント事業を実施しており、38・41 ページにその旨を記載しています。特にささえあいポイント事業は、33 ページにお示しさせていただいたとおり介護人材の確保につながる面もあり、元気な高齢者の活躍が期待されます。

さらに、40 ページに記載のロコモーショントレーニングでは、地域でロコモーショントレーニングに取り組む団体に対し活動費の助成を行い、介護予防に積極的に取り組む団体を支援しています。

#### ②「予防・健幸都市 浜松」の推進（1件）

<b>提案 5</b>	38 ページ「予防・健幸都市 浜松」の記載内容が分かりづらいので、専門的な用語は説明の言葉を足すなどしてみてはいかがでしょうか。
-----------------	--

#### 【市の考え方】案の修正

専門用語の意味につきましては、用語解説の 68 ページ（修正案 69 ページ）にてご紹介させていただいていますが、お寄せいただいたご意見を踏まえ、市民の皆様に分かりやすい表現とするため、下記のとおり修正します。

#### 《修正内容》

38 ページ ②「予防・健幸都市 浜松」の推進に以下の通り追加

#### ・【現状と課題】欄の5つ目

○健康で幸せに暮らすための新しい技術やサービスである「ヘルステック（インターネット等の通信技術などを活用した予防・健康・医療サービス）」に高い注目が集まっています。

#### ・【施策の方向と主な事業】欄の4つ目

○地域企業・団体の疾病・介護予防や健康づくりを推進するとともに、市民の健康情報を正しく活用するための能力であるヘルスリテラシーの向上を目指します。

⑥認知症施策の総合的推進（1件）

<b>提 案 6</b>	42 ページに記載の「チームオレンジ」とは何かが分からないため、用語解説に追加するなどしてください。
----------------------	--

**【市の考え方】案の修正**

チームオレンジにつきましては、29 ページのコラムに役割や構成する団体を記載しています。その旨が分かるよう、お寄せいただいたご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。

《修正内容》

（修正前）

42 ページ チームオレンジの設置推進

（修正後）

42 ページ チームオレンジ （29 ページ コラム4参照） の設置推進

⑨サービス提供人材確保・定着・育成（1件）

<b>提 案 7</b>	23、33、46 ページに記載の「生産性の向上」について、やや機械的な表現だと感じます。もう少し柔らかい表現にすべきではないでしょうか。
----------------------	--

**【市の考え方】案の修正**

お寄せいただいたご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。

《修正内容》

（修正前）

○生産性の向上

（修正後）

○業務改善等

施策展開における視点 災害や感染症対策に係る体制整備 (1件)

<b>提 案 8</b>	災害が発生したときに、自力または家族の支援だけでは避難することができない高齢者等の安全確保における介護サービス事業者との連携について記載していただきたい。
----------------------	---

【市の考え方】案の修正

本市は、平成24年に介護サービス事業者等関係団体と協定を締結し、災害発生時における安否確認、避難誘導等在宅要介護者の安全を確保するための体制を整備しています。お寄せいただいたご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。

《修正内容》

49 ページ 災害や感染症対策に係る体制整備に以下の通り追加

・【施策の方向と主な事業】欄の2つ目

○介護サービス事業者等関係団体と協力し、災害発生時の安否確認、避難誘導等の在宅要介護者への支援を行います。

・災害時における在宅要介護者の安全確保に関する協定

その他 (3件)

<b>要 望 4</b>	プランの内容について、大半の人が介護サービスが必要になってくる年代になって初めて知る状況である。団塊ジュニア世代など、働いているうちから知ってもらう手立てを考えてもらいたい。
----------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

今回から概要版を作成し、基本理念や重点施策などの主な部分を掲載しています。また、概要版最終ページの下段に市ホームページ内の本体版のページにつながるQRコードを掲載しているため、より詳細な内容をご確認いただけるとともに、若い世代の方々にも知っていただけるよう、図書館や協働センターなどの施設でも配架していきます。

<b>質 問 4</b>	全体として、新型コロナへの対応や事業実施計画への新型コロナの影響等がありますか。
----------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

37 ページに記載のとおり、今回のプランの施策展開にあたり、災害や感染症対策に係る体制整備が必要と考えています。

介護サービスは、感染症や自然災害が発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることから、施設・事業所における感染症を含めた災害対応マニュアルや業務継続計画(BCP)の策定を支援するとともに、施設整備補助の実施や連携体制の構築等により、体制の整備を行っていきます。

<b>要 望 5</b>	<p>デジタルで生活向上を目指す浜松市都市構想案の提示を受けて、高齢者が日常生活を営み、福祉に限らずあらゆる分野の活動に参加する機会が確保されることが重要である。質の高いサービスを提供できるかの視点で福祉領域への ICT の積極的な技術開発や活用を通してデジタル化の関連施策を推進する必要がある。</p>
----------------------	--

**【市の考え方】盛り込み済**

本市は、令和元年10月「デジタルファースト宣言」を行い、デジタルの力を最大限に活かし、市民の皆さまの生活の質の向上を目指しているところです。

こうした中、本市では、38ページに記載のとおり、今年度から市民の皆様が疾病・介護予防や健康づくりなどを一層積極的に推進するため官民連携プロジェクトとして、「浜松ウエルネスプロジェクト」に取り組んでいます。

本プロジェクトでは、市内外の企業とともに、デジタル技術などを活用した疾病・介護予防や健康づくりなどに関する社会実証事業などを官民連携で取り組むとともに、質の高い予防・健康事業などの市民サービスの提供に向け、浜松医科大学などと医療機関が保有する大量の健診データの分析などにも取り組んでいます。

今後、本市としては、こうした社会実証事業の成果や健診データの分析結果などを踏まえ、福祉領域を含む質の高い市民サービスを提供してまいりたいと考えております。